

令和 3 年 12 月 3 日

新型コロナウイルスと喫煙に関する  
ワーキンググループ

## 1. 基本方針

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、新たな働き方であるテレワーク<sup>\*1</sup>の導入が進んでいる。県民を取り巻く環境は、大きく変わりつつあり、今後もこの動きが止まることはないと考えられる。

また、喫煙所が新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる場所とされていることや、喫煙が重症化のリスク因子の一つであることなどが指摘されている。

ついでには、本県の受動喫煙対策についても、今後の「ウィズ&ポストコロナ社会<sup>\*2</sup>」に向けた、新たな取り組みが必要である。

## 2. 提言（検討結果）

(1) テレワークに対する取り組み

テレワークの導入が進み、オフィス以外の場所での勤務も増えている。特に自宅で喫煙をする場合、家族への受動喫煙に配慮するために台所の換気扇の下、あるいは、集合住宅のベランダや戸建て住宅の庭先で行われることが多い。しかし、このような場所で喫煙する場合、換気扇で排気されなかった煙やサッシやドアの隙間から屋内に流れ込む煙によって家族への受動喫煙を防止できないばかりか、換気扇の排気に含まれる煙やベランダ、庭先で発生する煙が近隣の住宅への「望まない受動喫煙」の原因となっている。このことから、テレワーク時においても、受動喫煙を防止するための配慮が必要と考える。

## 【意見】

兵庫県は場所や時間にとらわれない新たな働き方として普及が進んでいるテレワーク実施にあたっては、受動喫煙防止対策について率先して取り組み、民間企業等にも呼びかけること。

## (取組例)

- ・兵庫県の職員は、在宅勤務時は勤務時間のみならず、休憩時間も居宅内、ベランダ、庭先での喫煙を禁止
- ・マンション等住民に対する啓発を実施

(2) 新型コロナウイルス感染症に対する取り組み

喫煙が新型コロナウイルス感染症の重症化のリスクを高めることなどについて、幅広く県民の理解を深めていくことが必要である。

また、新型コロナウイルス感染対策としてマスク着用、手指消毒、3密（密閉・密集・密接）を避けることが重要である。喫煙所の環境にできるだけ配

慮し、3密とならないように啓発していくべきである。

#### 【意見】

##### 喫煙所に対する取組み

- ・感染リスクの高まる喫煙所については、一定のガイドラインにより運用していく必要があること（別案のとおり）。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、喫煙所は一時閉鎖するなどの対応が必要であること。

### 3. 兵庫県に求める取組み

県内市町村庁舎の受動喫煙対策が進んでいることをふまえ<sup>※3</sup>、兵庫県は受動喫煙対策について、一層の率先的な取組みを行っていく必要がある。

特に、喫煙終了後、呼気に含まれるたばこのガス状物質が喫煙前の口臭に戻るまでに45分間必要との発表<sup>※4</sup>もあることから、勤務時間中は職場の同僚等周囲への配慮が求められる。

#### 【意見】

- ・庁舎内の特定屋外喫煙所の設置を見直し、敷地内全面禁煙とすること
- ・職員の勤務時間中については、禁煙とすること
- ・庁舎内でたばこを販売しないこと

---

※1 「テレワーク」とは、「情報通信技術を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方」のこと。Tele（離れて）とWork（仕事）を組み合わせた造語である。要するに、本拠地のオフィスから離れた場所で、ICTを使って仕事をすることである。

「テレワーク」には、

在宅勤務（所属する勤務先から離れて、自宅を就業場所とする働き方）、サテライトオフィス勤務（本拠地以外の勤務先から離れたところに設置した共用オフィスで勤務する働き方）などがある。

※2 「ウィズ」とは新型コロナウイルスと共存・共生、「ポスト」とはコロナ禍後をいう。

※3 第2回新型コロナウイルスと喫煙に関するワーキンググループ 資料3

※4 産業医科大学生態科学研究所教授 大和浩「受動喫煙の健康影響に関する最新情報」『保健師ジャーナル』VOL.75 No.2、2019年2月より

# 新型コロナウイルス感染拡大防止 に向けた喫煙所ガイドライン

## 施設管理者へのお願い

- 施設の状態に応じて人数制限もしくは密度制限を設ける。（人との距離をできれば2 m、最低1 m保つ）
- 喫煙所入口に体温測定器、アルコール消毒を設けることが望ましい。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、喫煙所は一時閉鎖を推奨する。

## 喫煙所利用者へのお願い

- 混雑時又は風邪症状のある場合、喫煙所の利用を控える。
- 人との距離を保つ（できれば2 m、最低1 m）。
- 喫煙所利用前後の手洗いや手指消毒を徹底する。
- ライター、ポケット灰皿などの貸し借りをしない。
- 喫煙中は会話をしない。
- 喫煙をしているとき以外はマスクを着用する。
- 喫煙所滞在時間を極力短くする。